

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度	35° 47' 06"	
				経度	137° 30' 01"	
小俣橋 (フリガナ)コマタバシ	村道第22号線	長野県木曾郡王滝村				
管理者名	点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
長野県 王滝村	2017.11.15	小俣川	無	一般道	その他	無し

部材単位の診断(各部材毎に最悪値を記入)

点検者				株式会社 長野技研		点検責任者		吉原 潤一		
点検時に記録				措置後に記録						
部材名		判定区分 (I~IV)	変状の種類 (II以上の場合に記載)	備考(写真番号、位置等が分かるように記載)		措置後の判定区分		変状の種類		措置及び判定実施年月日
上部構造	主桁	I								
	横桁	I								
	床版	II	床版ひびわれ	写真10 床版 01						
下部構造		I								
支承部		I								
その他		II	排水装置:土砂詰り	写真50 排水装置0102						

道路橋毎の健全性の診断(判定区分I~IV)

点検時に記録		措置後に記録	
(判定区分)	(所見等) 床版にひびわれ、排水装置に土砂詰りが生じている。 II 予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	(再判定区分)	(再判定実施年月日)

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

架設年次	橋長	幅員
1969年	39m	4.0m

終点側



起点側

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

状況写真(損傷状況)

○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真に記載の

○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

上部構造(床版)【判定区分: Ⅱ】	その他(排水装置)【判定区分: Ⅱ】
<p>写真 10</p>  <p>径間 1 床版 01 床版ひびわれ・遊離石灰 【判定区分: Ⅱ】</p>	<p>写真 50</p>  <p>径間2 排水装置0102 土砂詰り 【判定区分: Ⅱ】</p>